



高知ナス新品種 ‘土佐鷹’ の育成



‘土佐鷹’ の果実



栽培風景

表 ‘土佐鷹’ の果実特性

品 種	果重 (g)	果長 (cm)	果径 (cm)	果形比	果皮色	果頂部 の形状	へた色	肩部の 張り	光沢	果形の 整否
土佐鷹	91.3	11.5	4.7	2.4	5.0	1.6	5.0	2.5	4.0	4.8
竜 馬	87.0	13.7	4.6	3.0	4.5	3.8	4.3	1.6	3.1	3.0

注) 果形比：果長／果径、果皮色：1赤紫～5濃黒紫、果頂部の形状：1凹～5凸、へた色：1緑～5黒紫、肩部の張り：1細～3太、光沢：1弱～5強、果形の整否：1不整～5整

高知県農業技術センターでは、「高知ナス」の品質向上をめざし、ナスの品種改良を行っています。このたび、「竜馬」の蒔培養系統と「千両」の蒔培養系統との交配によりF₁品種‘土佐鷹’を育成し、平成17年12月に品種登録出願が受理されました。

‘土佐鷹’は、「竜馬」の収量性と「千両」の果実品質をあわせもつ本県の促成栽培用ナス品種です。果実の光沢や果皮の柔らかさ、食味等の果実品質が優れています。

また、果実の肩部の張りが良く、ボリューム感があります。

平成17年度の試験出荷では、市場からも高い評価が得られ、今年度の栽培面積は県内全域で約9haになっています。今後は農業振興センター、園芸連、JA等と連携しながら、さらに普及を進めたいと考えています。

(園芸作物担当 岡田昌久 088-863-4916)